



# 茅ヶ崎市議会議員 ちがさき立憲クラブ 議会報告 ピカッ! 吉川ひかり ちがさき

文化教育常任委員会 ICT活用推進協議会 所属

未来・みんな・海かがやくまちに



ピカちゃん

## 食品药品などの終わりの見えない物価高… 茅ヶ崎市民の生活を支えるために 一人 6,000 円の商品券を配布へ



昨年 12 月 17 日、国の補正予算が通ったことで、茅ヶ崎市は「物価高騰対応重点支援事業費」として、一人あたり 6,000 円を すべての市民に配布することになりました。 6,000 円の内、全国規模の大手企業で使用できる「共通券」3,000 円と、市内事業者のみで使用できる「専用券」3,000 円となり、直接市民のくらしを応援し、また市内経済への効果を狙い、10 億円の市内経済効果を見込んでいます。市民の関心も高いため、最大限に効果を発揮し、配布もれなど無いよう、慎重かつ速やかに市民の元へ届くよう会派として対応を求めていました。

## 選択的夫婦別姓の導入に対する意見書に賛成



日々の活動は  
Facebook へ →   
Instagram へ →   
✉ hikari1982@chigasaki.link  
令和 8 年 1 月 発行

茅ヶ崎市議会に提出された、国への「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」について、ちがさき立憲クラブは賛成をし、議会としても賛成多数で可決されました。民法第 750 条は、「夫婦は、婚姻の際に定めるところに従い、夫又は妻の氏を称する」と定めていますが、アイデンティティの喪失感が否めず、仮に旧姓の通称使用を拡大したとしても、金融機関等との取引や海外渡航の際の本人確認、公的機関・企業とのやり取り等で生じる困難は避けられないため多くの声があがっており、国連からも 4 度勧告されているにも関わらず、長年議論が進んでいない状況にあります。他自治体でも、同様に国に選択制夫婦別姓の導入に対する意見書が採択された例は約 580 自治体にのぼり、多くの国民的議論となっています。

(令和 7 年度第 4 回定例会)